

<%Name%> 様

「ECOTRANからのお知らせ」をお送りいたします。

過去のお知らせは以下でご覧いただけます。  
<https://ecotran.or.jp/act/info/info.html>

#### ☆地域鉄道の高付加価値フォーラムin五所川原「どっすー？地域鉄道」の開催

一般社団法人交通環境整備ネットワーク主催の地域鉄道の高付加価値フォーラムin五所川原「どっすー？地域鉄道」を開催します。

このフォーラムは、日本における地域鉄道の役割や存在意義をひもとき、運輸の手段のみならず地域をけん引する存在として、地域の風景を彩る観光資源、コミュニティの場、地域の文化など多角的に考察して論じ、これからの地域を支えていくための「地域鉄道の価値」をより高めていく機会にしたいと考えております。

国は地域交通法を改正し、2023年を「地域公共交通再構築元年」として公共交通機関への支援を強化しています。

そこで、この施策の筋道を作られた国土交通省大臣官房参事官の田口芳郎氏と地域交通と観光振興に携わる有識者にお集まりいただき、地域鉄道の現状から如何に付加価値を高めることができるかを論じていただきます。

皆様のご参加をお待ちしています。

○期 日：2023年（令和5年）12月16日（土）13：30～15：45（13時開場）

○会 場：五所川原市民学習情報センター JR・津鉄五所川原駅徒歩10分  
五所川原市宇ツ谷503番地5 参加費：無料 ただし、80名様まで

○プログラム

開催のあいさつ 一般社団法人交通環境整備ネットワーク代表理事 原 潔

基調講演1「地域交通法改正のポイント、地域の鉄道はどうあるべきか」  
国土交通省大臣官房参事官 田口芳郎氏

トークセッション「地域鉄道の付加価値を高めるには」

コーディネーター／東京女子大学現代教養学部教授 矢ヶ崎紀子氏

パネラー／ 国土交通省大臣官房参事官 田口芳郎氏

温泉ビューティ研究家 石井宏子氏

津軽鉄道株式会社顧問 澁谷房子氏

閉会のあいさつ 津軽鉄道株式会社代表取締役社長 澤田長二郎氏

○詳細及びお申し込みは、<https://ecotran.or.jp/act/231216/231216.html>

#### ☆鉄道写真詩コンテスト2023入賞作品展をリニア・鉄道館で開催します

鉄道写真詩コンテスト入賞作品展を新たにリニア・鉄道館（名古屋）において開催することとなりました。

○期 日：2023年12月6日（水）～12月27日（水）

10：00～17：30（火曜日は、休館日）

○場所：リニア・鉄道館2F体験学習室  
あおなみ線金城ふ頭駅下車徒歩2分

詳しくは、<https://ecotran.or.jp/photo/2023/index.html>

#### ☆『地域交通を考える』第15号刊行

一般社団法人交通環境整備ネットワークの機関誌『地域交通を考える』第15号を刊行しました。会員の皆様には、発送いたしております。

目次

○巻頭言

「日本の公共交通の将来は明るくない」 板谷和也（流通経済大学経済学部教授）

○特集「ローカル鉄道」

「地域の将来と利用者の視点に立った公共交通のあり方～ローカル鉄道の再構築の運用等について～」中田勝久（国土交通省鉄道局鉄道事業課地方鉄道再建構築推進室長）

「富山のトップハム・ハット卿は誰か？JR城端線・氷見線の「再構築」を通じて、富山県のローカル線を考える」宮本南吉（富山新聞社報道局長・編集委員）

「JR四国と徳島バスとの共同経営」長戸正二（四国旅客鉄道株式会社専務取締役・鉄道事業本部長）

「統計データにみる新型コロナウイルスの地方民鉄への影響」平田一彦（一般社団法人交通環境整備ネットワーク審議役）

「ローカル線の存廃を考える」入江 聡（一般社団法人交通環境整備ネットワーク監事）

「クルーズトレインの運行によるローカル線の活性化～山陰本線の活性化を模索する～」堀内重人（運輸評論家）

○論考

「明知鉄道のコミュニティバス事業について」小倉沙耶（鉄道アーティスト・明知鉄道観光大使）

「高等学校教科書が扱う我が国の交通」塩島 翔（二松学舎大学非常勤講師）

「青函連絡船を支えたタグボートひうら丸」横山光政（株式会社小田原機器）

○海外の鉄道

「スイスアルプスを巡る鉄道の旅」白根英路（株式会社デーシーティ・プランニング代表取締役社長）

「ミラノにおける統合運賃制度」原 潔（一般社団法人交通環境整備ネットワーク代表理事）

○連載：鉄道法律相談

「交通系ICカード非利用者の訴訟から考える」小島好己（翠光法律事務所弁護士）

○講演録

地域鉄道フォーラム 2023「地域と鉄道」

○作品鑑賞

鉄道写真詩コンテスト2023

A5版252頁 頒価1,500円

お求めは、東京神田「書泉グランデ」5階

又は、当法人のウェブから申込みください。

詳しくは、<https://ecotran.or.jp/article/review15/index.html>

---

☆『地域の発展と鉄道』刊行

一般社団法人交通環境整備ネットワークでは、『地域の発展と鉄道』を刊行しました。人口減少・高齢化の時代が到来し、今こそ環境に配慮した持続可能な地域・社会をつくることが急務となっています。この持続可能な地域・社会を実現し、地域が発展していくためのまちづくりには、鉄道の存在が欠かせません。

高齢化が進展する中で、自動車の運転ができない人のためにも、エコな鉄道を軸としたモビリティの構築により、域内を誰もが自由に行き来できるようにすることが重要となります。

そのためには、地域と鉄道が連携、協働して地域の活力、魅力を高め、共に発展していくことが求められます。

活力ある地域間相互を結ぶのも鉄道の役目です。活力ある地域間のネットワークが無数に張り巡らされることによって、国としての力も高まることとなります。

国は2023年4月に地域交通法を改正し、地域関係者間の連携と協働を推進し、利便性・持続可能性・生産性の高い地域交通ネットワークへのリ・デザイン（再構築）を支援することとしました。

一般社団法人交通環境整備ネットワークにおいては、これまで、鉄道の価値や地域と鉄道の関係について、地域鉄道フォーラム等を通じて有識者による議論を重ねてきました。

本書は、これまでの議論を集大成したものであり、鉄道を軸とした地域の交通環境を再構築し、整備する際の一助となるものと確信をいたしております。

○内容

序 章

1 地域公共交通とソーシャル・キャピタル

関西大学経済学部教授 宇都宮浄人

2 日本の公共交通の将来は明るくない

流通経済大学経済学部教授 板谷和也

第1章 地域と鉄道

1 来賓あいさつ 国土交通省鉄道局鉄道事業課長 田口芳郎

2 基調講演 「地域のまち、経済を持続可能にするための処方箋」

富山大学都市デザイン学系特別研究教授・（一財）運輸総合研究所主席研究員 金山洋一

3 トークセッション「鉄道の価値・可能性」

コーディネーター／関西大学経済学部教授 宇都宮浄人

富山大学都市デザイン学系特別研究教授 金山洋一

流通経済大学経済学部教授 板谷和也

ひたちなか海浜鉄道株式会社取締役社長 吉田千秋

（2023年6月10日開催 地域鉄道フォーラムより）

第2章 地域鉄道の価値を考える

1 来賓あいさつ 国土交通省鉄道局鉄道事業課長 大野 達

2 基調講演 「地域鉄道の価値を考える」 関西大学経済学部教授 宇都宮浄人

3 トークセッション「地域鉄道の価値とは」

コーディネーター／関西大学経済学部教授 宇都宮 浄人  
芝浦工業大学工学部教授 岩倉 成志  
国土交通省鉄道局技術企画課技術開発室長 岸谷 克己  
愛知学泉大学現代マネジメント学部講師 田中 人  
水間鉄道株式会社会長 関西 佳子  
鉄道アーティスト 小倉 沙耶

(2016年6月11日開催 地域鉄道フォーラムより)

### 第3章 地域の鉄道に係る提言・法制度の動き

- 1 地域の将来と利用者の視点に立ったローカル鉄道の在り方に関する提言～地域戦略の中でどう活かし、どう刷新するか～
- 2 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律（令和5年法律第18号）の概要
- 3 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律案に対する附帯決議
- 4 審議の状況
- 5 地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本方針

○一般頒布 1,500円（税込み）

○発行 2022年11月25日

○ページ数 126ページ

お求めは、当法人のウェブから申込みください。

詳しくは、<https://ecotran.or.jp/article/series2/index.html>

---

### ☆明知鉄道沿線地域公共交通シンポジウム2023の開催

---

明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会主催の明知鉄道沿線地域 公共交通シンポジウム2023が開催されます。  
一般社団法人交通環境整備ネットワーク審議役で、鉄道アーティストの小倉沙耶さんがパネリストで登壇します。

○期 日：2023年12月10日（日）

13：40～16：10

○会 場：明智文化センター

恵那市明智町1860-6

○内容

- (1) 情報提供 おでかけ環境のR・デザインを目指した国の制度変更の活用  
加藤 博和 氏（名古屋大学大学院環境学研究科教授）
- (2) 活動報告 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会、明知鉄道(株)、恵那市明智地域中津川市阿木地域

(3) パネルディスカッション

テーマ「地域のおでかけ環境を地域で考えてみよう」

コーディネーター／加藤 博和 氏（名古屋大学大学院環境学研究科教授）

パネリスト

渡辺 康正 氏（明知鉄道(株)代表取締役専務）

野田 昭宏 氏（東濃鉄道(株)取締役営業本部長）

山田 和洋 氏（平和コーポレーション(株)代表取締役社長）

松原 淑明 氏（明智地域自治区運営協議会安心部会長）

鈴木 弘之 氏（NPO法人阿木ふるさと福祉村理事長）

小倉 沙耶 氏（鉄道アーティスト）

松田 泰明 氏（恵那市まちづくり企画部交通政策課長）

コメンテーター／勝山 祐樹 氏（国土交通省中部運輸局交通政策部交通企画課長）

詳しくは、<https://www.city.ena.lg.jp/soshiki/ichiran/machizukurikikakabu/koutsuu/9/11969.html>

---

### ☆第47回EST創発セミナーin姫島の開催

---

国土交通省九州運輸局、姫島村、EST普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団主催の第47回EST創発セミナーin姫島が開催されます。

○日時：2023年12月11日（月） 12：15～14：50

○会場：離島センター「やはず」

〒872-1501 大分県東国東郡姫島村1569-1

オンライン併用

○プログラム

1. 開会挨拶（姫島村、国土交通省九州運輸局、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団）
2. 基調講演（大井 尚司 大分大学経済学部門 教授）「持続可能な観光と地域交通の実現に向けて（仮）」
3. 特別講演（三重野 真代 東京大学公共政策大学院交通・観光政策研究ユニット 特任准教授・

- (一般財団法人運輸総合研究所 客員研究員)  
「脱炭素を進めるゆっくりに軸とした『モビリティまちづくり』のススメ」  
休憩
4. 取組紹介 (T-PLAN株式会社、一般社団法人姫島エコツーリズム)  
「離島の課題に再エネと小型EVを活用した取り組み(仮)」
5. 意見交換 「再エネで走る小型EVで観光・生活交通の脱炭素化を進める」  
パネリスト：大井 尚司 大分大学経済学部門 教授  
三重野 真代 東京大学公共政策大学院交通・観光政策研究ユニット 特任准教授
- ・ (一般財団法人運輸総合研究所 客員研究員)  
姫島村  
一般社団法人姫島エコツーリズム  
国土交通省九州運輸局
- コーディネーター：加藤 博和 名古屋大学大学院 環境学研究科 教授
6. 閉会  
詳しくは、<https://www.estfukyu.jp/sohatsu75.html>

☆『地域交通を考える』第14号内容公開

一般社団法人交通環境整備ネットワーク機関誌『地域交通を考える』は、発行後1年を経た段階でウェブ公開をしています。  
この度2022年11月発行の『地域交通を考える』第14号特集「鉄道150年の変遷と明日の鉄道」を公開しました。  
以下から、ダウンロードください。  
<https://ecotran.or.jp/article/review14/index.html>

☆「運輸総研だより」第8号公開

運輸総合研究所機関誌「運輸総研だより」第8号が公開されています。  
詳しくは、[https://www.jttri.or.jp/dayori\\_08.pdf](https://www.jttri.or.jp/dayori_08.pdf)

☆鉄道関係等諸情報をお送りします  
注目される記事、興味深い記事には◎印を付しております

\* 地域交通関係 \*

- ◎率直に言う もはや日本に「公共交通」を維持する力はない  
<https://merkmal-biz.jp/post/53145>
- ハピラインの「先輩」…しなの鉄道のしたたかな赤字脱却劇 1997年に誕生、全国初の三セク鉄道会社  
<https://www.fukuishimbun.co.jp/articles/-/1915505>
- ハピラインふくい10年後の累積赤字は70億円 厳しい経営、経費減…第三セクター鉄道会社の自立への道  
<https://www.fukuishimbun.co.jp/articles/-/1914781>
- ◎月額6000円でタクシー“乗り放題”…その安さの秘密は？ 業界も運転手不足対策に期待 静岡・藤枝市で実証実験  
[https://look.satv.co.jp/content\\_news/topic/24833](https://look.satv.co.jp/content_news/topic/24833)
- 人口が減る中、効率の良い交通サービスを 岩手・二戸市で相乗り乗用車「チョイソコ」の実証実験 予約に合わせて運行  
<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/865988?display=1&mwplay=1>
- A I活用！「バスでもタクシーでもない」新交通システムの実証運行〈宮城〉  
<https://www.fnn.jp/articles/-/621554>
- ◎「岐阜市」衰退のワケは「路面電車」廃止のせい？ 同じ名古屋圏でも大活躍のエリアが  
<https://www.dailyshincho.jp/article/2023/11181100/?all=1>
- 存続の危機から再生なるか「近江鉄道」めぐる挑戦  
<https://toyokeizai.net/articles/-/713206>
- なぜ近江鉄道は存続を選んだか…決断促した“緻密なデータ”と“たま駅長”？  
<https://jbpress.ismedia.jp/articles/-/78120>
- JR東の34地方路線で4年度も赤字継続 総額648億円、全国で存廃議論加速へ  
<https://www.sankei.com/article/20231121-Z3ATLNCK2F06RM65NJ4KE2LS6E/>
- JR西が赤字路線の最新収支公表 芸備線は1日利用わずか20人、100円稼ぐのに1万5516円  
<https://www.ytv.co.jp/press/kansai/detail.html?id=3c801fa763134738bc7937575f92c8b6>
- ◎赤字ローカル線“廃止待った”…岡山・真庭市長“モノ言う株主”「JR西株を億単位で」  
[https://news.tv-asahi.co.jp/news\\_society/articles/000326253.html](https://news.tv-asahi.co.jp/news_society/articles/000326253.html)
- 小湊鐵道は11月23日から全線運転再開、ただし工事に合わせて平日バス代行となる区間も

<https://tetsudo-ch.com/12924985.html>

○人気の宇都宮LRT、頻発する「車と衝突」どう防ぐ？

<https://toyokeizai.net/articles/-/716574>

○岡山市 バス路線再編など「地域公共交通計画」の素案発表

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/okayama/20231130/4020018754.html>

○高速バスの「風雲児」が起死回生策 進撃続く「赤字日本一」3セク鉄道

<https://www.sankei.com/article/20231130-EED57H5D4FMWFJFJ2J4CUTMJ5Y/>

○地域交通「ボランティア輸送」はOK 謝礼は任意、アプリで支払い 政府方針

<https://www.sankei.com/article/20231130-PQ6DVUZBSRPDFLMFYAONHX7UXM/>

\* 営業関係 \*

○モバイルサービスがないPiTaPa危うし？ 近鉄、阪急、阪神 クレカのタッチ決済乗車スタート 交通系ICカードの未来は

<https://maidonanews.jp/article/15058637>

○運転士不足で「お得なキップ」発売中止 「混雑時の臨時便出せません」待ちぼうけのリスク回避 筑波山

<https://trafficnews.jp/post/129507>

○JR九州、きっぷ受け取り不要の「QR乗車」導入へ まずは博多駅発着の主要な特急列車などが対象

<https://tetsudo-ch.com/12926945.html>

\* 幹線鉄道・都市鉄道・鉄道全般 \*

<リニア・新幹線関連>

○【リニア】声を聞く姿勢はどこに？川勝知事が危惧する発生土置き場…実は“地権者”が提案した場所であることが判明

<https://www.fnn.jp/articles/-/617131>

○深まる対立 静岡県川勝知事VS県議会自民党

<https://www.nhk.or.jp/politics/articles/feature/103971.html>

○川勝知事の「謎理論」を地元紙が援護射撃する怪…「最終局面」を迎えてもリニア問題がまだこじれそうなのワケ

<https://president.jp/articles/-/76010?page=1>

○【リニア】静岡工区の着工へ一歩前進と思いきや…再び難題？川勝知事は県内でのボーリングを現時点で認めない方針

<https://www.fnn.jp/articles/-/622306>

○JR東海社長「ありがたいこと」 静岡県などのリニア取水抑制案了承に謝意

<https://www.sankei.com/article/20231130-2WPELTPWBBNMLBNFEUR3F5HKXI/>

○リニア中央新幹線、液体ヘリウム不要に…JR東海が「高温超電導磁石」を実用段階に近づけた意義

<https://newswitch.jp/p/39430>

○大分県はなぜ「東九州新幹線」に執着するのか？ 交通研究会発足にみる、九州“取り残され県”の悲哀現実

<https://merkmal-biz.jp/post/53173>

○「東九州新幹線構想」2ルート案の調査結果 事業費は日豊線が久大線より144億円少ない8195億円 大分

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/850138?display=1>

○長崎と佐賀の西九州新幹線フル規格促進派が研修会

<https://www.ktn.co.jp/news/detail.php?id=20231118002>

○西九州新幹線「佐賀空港連携の南回りルートは一考に値する」佐賀県知事発言に長崎県知事「進展に期待」

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/nbc/847858?display=1&mwplay=1>

○松山開業めざす「四国新幹線」実現に向けて地元機運上昇？「やればできる！四国新幹線」で“新幹線の父”も登場

<https://trafficnews.jp/post/129447>

○「北海道新幹線札幌延伸に伴う鉄道物流のあり方に関する有識者検討会議」（第1回）を開催します

[https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo03\\_hh\\_000102.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo03_hh_000102.html)

○“貨物路線維持”へ JR北海道から経営分離される並行在来線「函館一長万部」維持には多額の費用も 札幌で有識者会議の初会合

<https://www.fnn.jp/articles/-/622792>

<水素・燃料電池関連>

○世界がグリーン水素に本気、計画は2年で100倍超の規模に

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/02655/111700001/>

○ハイエースが走る。トヨタの水素エンジン開発が迎えた新ステージ

<https://newswitch.jp/p/39265>

○姫路での水素輸送・活用へ協業 関電、JR西、パナソニックなど6社

<https://www.sankei.com/article/20231121-U42R6L5W4VNJPENGNQXFM05AVY/>

- 脱炭素社会に適應！各メーカーがこぞって開発を進める「水素エンジン」とは？  
<https://bike-news.jp/post/339021>
- JR東海、「水素動力車両」の開発へ。世界初の取り組み  
<https://www.drone.jp/news/2023112211561176482.html>
- JR2社が開発に取り組む「水素燃料の鉄道車両」の仕組み 燃料電池を搭載する「HYBARI」も話題  
<https://www.moneypost.jp/1086923>
- ひこぼしラインで水素燃料電池バスの実証実験開始  
<https://rkb.jp/contents/202311/202311299000/>
  
- ただ曲がるだけなのに「名物」に 豊橋鉄道の「急すぎる」カーブ  
<https://www.tetsudo.com/column/580/>
- 「駅そば」の今とこれからを考える  
<https://www.yomiuri.co.jp/hobby/travel/ryokou-select/20231109-0YT8T50023/>
- 「連結器を全部取り替えろ！」日本の鉄道車両6万両の一斉交換なぜ行われた？ 旧式を使い続ける欧州との違い  
<https://trafficnews.jp/post/129280>
- JR四国の新車「ハイブリッド式ローカル気動車」は国産に 国鉄キハ40系など置き換えへ  
<https://trafficnews.jp/photo/129418>
- JR四国の10月運輸収入は前年比24.7ポイント増 初めて新型コロナ感染拡大前を上回る【香川】  
<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/rsk/861760?display=1>
- 鉄道博物館の入館料改定へ、一般の当日料金は1,600円に 小中高生などは値下げ 展示の増設も 24年4月から  
<https://tetsudo-ch.com/12926589.html>
- 京成・新京成「2025年合併」に隠された戦略とは？ “ディズニー株” 巡る外国人投資家とのバトル余波なのか  
<https://merkmal-biz.jp/post/53534>
- JR九州、香椎線の全便で自動運転へ 運転士なしの運行も  
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0JC2983R0Z21C23A1000000/>
- お寺が運営する鉄道路線があるって!? しかも「できれば乗らないでほしい」のワケ  
<https://www.tetsudo.com/column/673/>
- 石狩市が札幌へロープウェイ計画、3ルート案公表…過去に鉄道やモノレール実現せず  
<https://www.yomiuri.co.jp/national/20231130-0YT1T50101/>
- 地方私鉄の新車導入相次ぐ 「18m車」以下が枯渇？ 背景にある供給不足の現実とは  
<https://merkmal-biz.jp/post/53827>
- つくばエクスプレスの8両編成化「2030年代前半」なぜこれほど時間がかかるのか？  
<https://merkmal-biz.jp/post/53578>
- 「目立った傷はなかった」大井川鉄道の重大インシデント 車両の破損や部品紛失確認されず 運輸安全委の現場調査続く=静岡・大井川鉄道  
<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/866113>
- 線路上に人気ラーメン店がオープン 終電時間も怖くない「究極の駅ナカ」  
<https://www.sankei.com/article/20231125-6D35FUVI25K6JN7K43V7HJOWEU/>
- 機関車の体験運転で人気回復 碓氷峠鉄道文化むら 群馬・安中市  
<https://www.sankei.com/article/20231124-4W2DX5C4IFNR5KT5A2NKRSNRR1/>
  
- \*バス・タクシー、船舶、航空ほか\*
- 高速バス「運転手不足」で路線廃止が相次ぐ深刻な現実  
<https://toyokeizai.net/articles/-/715098>
- 「万博に人を出す余力ない」会場輸送のバス運転手確保も難航、2024年問題が直撃  
<https://www.sankei.com/article/20231121-QC7QA10LL5PVJJCOTEWH3BUHT3I/>
- バス路線 全国8600キロ余が廃止 要因の4割が“運転手不足”  
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20231124/k10014267761000.html>
- 【特集】『運転手不足』と『2024年問題』で相次ぐ路線バスの廃止「1日15時間勤務」元運転手語る過酷な労働実態…“地域の足”が迫られる選択の時  
<https://news.ntv.co.jp/n/yty/category/society/ytf2313e4497ad40eebe13f6aebbafb12f>
- 人手不足深刻で路線バスの減便・廃止が首都圏でも 「バス運転手を長年、ぞんざいに扱ったツケが来た」  
<https://www.j-cast.com/2023/11/29473884.html?p=all>
- 運転手不足の打開策示せるか…街の中心部で長時間は全国初「自動運転バス」運行開始 目指すは完全自動運転  
[https://www.fnn.jp/articles/-/621854#goog\\_rewarded](https://www.fnn.jp/articles/-/621854#goog_rewarded)
- 戦前の「薪で走るバス」が蘇った！ 神奈中バスが奮闘の末「木炭エンジン」見事始動に成功  
<https://trafficnews.jp/post/129446>
- 「最短経路上の交差点を順番に」難問並ぶタクシー地理試験、ライドシェアで注目  
<https://www.sankei.com/article/20231121-WQSJ7GAC2BIWFK7VJU64QCI5HQ/>

- タクシー業界は「あえて」ライドシェアを受け入れるべし ドライバーの“付加価値”向上が先決、「地理試験」廃止議論は本質的でない  
<https://merkmal-biz.jp/post/52967>
- 便利な一方課題も多い…日本はホントに導入するの？ ”先進国”タイで見た「ライドシェア」の光と影  
<https://friday.kodansha.co.jp/article/343217>
- ヤマト・JAL「貨物専用機」お披露目、注目すべきは“輸送量”ではなく“輸送物” キーワードは「付加価値」だ  
<https://merkmal-biz.jp/post/54045>
- 成田空港9月中間決算 4期ぶり黒字 インバウンド急増  
<https://www.sankei.com/article/20231130-P3XZKP42HNIWPGZYQQA57LJTXY/>
- 成田空港で横行 白タク行為撲滅で 国交省、18日に対策会議  
<https://www.sankei.com/article/20231130-BUOEGEUZ5NIX3I6YWOS562CPCI/>